令和４年度
みかど荘　事業報告書

介 護 老 人 福 祉 施 設
短期入所生活介護事業
地域包括支援センター

1　はじめに

新型コロナウィルスが発症し 3 年が過ぎ感染が下火傾向に進むと新たな変異株により増加する事を繰り返す年でありました。

本年度も引き続き施設内に新型コロナウィルスを持ち込まれないよう、対策に努めて入所者が安心・安全に生活が送れるよう努めました。

職員の健康・衛生管理面として、休日などの職員の行動管理報告の提出求め、週 1 回の PCR 検査を実施し健康・感染状態の把握に努めました。そのかいあって、1 度も新型コロナの発症することはありませんでした。

今後も法人としては、全職員に勤務中のマスク着用と不要な外出や自己健康管理に努めるよう指導してまいります。

同居家族による濃厚接触者の報告がありましたが、早めの対応により対処し施設内への持ち込みを阻止致しました。

今後も警戒を緩めず、油断せず施設経営に取り組んでまいりたいと思います。

本年度の各事業報告を次ページ以降に取りまとめましたのでご報告致します。

２　介護サービス提供への取組み結果

（１）特養・短期入所サービスの取り組み報告

特養においては、最低目標の入所者 50 名にしておりましたが、新型コロナの感染拡大により目標とした数字には届かない結果となりました。

①介護支援専門員・生活相談員としての報告

●施設サービス提供の包括責任者として、ご利用者様及びご家族様からの苦情や相談があった場合、解決すべき問題を検証し、迅速に改善を図ります。
●ご利用者様並びにご家族様から希望・要望を聞き、施設介護サービス計画書へ反映させました。
●施設サービス計画書作成後は遅滞なく、ご利用者様・ご家族様へ確認・承諾を受けました。
●退院時や状態変化があった際には適宜見直しを行い、一人一人に適切なサービス提供がなされるよう努めました。
●ご利用者様・ご家族様への介護支援に関する様々な情報提供と介護保険関連や関係法令の情報提供に努め、ご利用者様とご家族様との信頼関係の構築に努めました。
●施設職員からご利用者様に対するサービス情報を抽出し施設サービス計画書の質を高めました。
●情報の伝達・共有を行える組織が構築できるよう努めました。
●終末期のケアの質が高まるよう、ご家族様の意思を適宜確認しながらケアに努めました。

②介護職員としての報告

1 階フロアー
●コロナウィルス感染予防に努め消毒、清掃を実施しました。
●対面面会を制限しリモートでの面会を行いました。
●介護サービス計画書に基づき介護サービスを提供。安心して快適に過ごして頂けるように努めました。

2 階フロアー
●ご利用者様の尊厳を守り、快適に過ごして頂くように努めました。
●ご利用者様の状態変化を見逃さず異変の早期発見に努めました。
●介護職員、他の職種と連携を密にとり業務を遂行しました。
●コロナウイルス感染予防のため各種居室等の清掃、消毒を実施しました。
●感染症予防の概念から希望者にはリモートでの面会を行いました。

③看護職員としての報告

●適切な巡回のほか連絡・報告を受け、ご利用者様の状況を把握し異常の早期発見に努めました。
●施設内でのインフルエンザやノロウイルス、新型コロナウイルスの感染防止に努めました。
●新型コロナウイルスの感染防止対策のため、歯科回診は中止（緊急性のある場合を除く）としました。
●内科回診を年間予定通り実施しました。
●職員健診に際し、通院・再検査が必要な職員に対して指導を行いました。

●夜間や休日の急変発生時、適切な対応を行いました。

≪入所者健康管理年間報告≫
□ 定期回診（内科）　毎週火曜日
□ 健康診断　　入所時・随時
・採血、採尿　随時
・胸部レントゲン（年１回　５月実施）
□ 体重測定　年４回　5・9・12・3 月実施
□検温　　１回/日実施
□ 血圧測定　週２回入浴日　他随時実施
□ インフルエンザ予防接種　11 月から 12 月にかけて実施
□新型コロナワクチン接種　2 月・7 月・12 月実施

≪職員健康管理年間報告≫
□健康診断　全職員対象（採血・採尿・胸部レントゲン・血圧測定・）12 月実施
　　夜勤者対象（採血・採尿・血圧）3 月実施延期

□ 給食職員細菌検査　毎月１回（夏季２回）提出
□ インフルエンザ予防接種　11 月から 12 月にかけて実施
□新型コロナワクチン接種　2 月・8 月・12 月実施

④栄養士としての報告
●身体状況に応じた食札を利用し、個々に合った調理法の選択・食材のサイズの調節を介護主任や看護師と検討し提供しました。
●嚥下能力を考慮したトロミ剤を使用し、誤嚥防止に努めました。
●年間行事での行事食の提供、季節の食材を取り入れることで、四季を体感できるような食事を提供しました。また、故郷の味を懐かしんでいただくために、月に数回ほど各地の郷土料理を提供しました。
●盛り付けや食器の使い分けにより、「目でも楽しめる食事」を目指し提供しました。
●嗜好調査を実施し、利用者の要望に応えられるよう努めました。

（２）地域包括支援センターの取り組み報告
●介護予防の取り組みとして、コロナ禍で活動を停止していた公園体操を地域の老人ホームやグループホームと協力し行いました。
●野川西団地での介護予防体操を再開し定期的に開催しました。
●毎月地域住民や専門職と地域の課題にについて話し合う場をつくり、課題への対応などについて検討しました。

（３）各種委員会・職員教育・研修報告
①入所判定委員会
●新規ご利用者様を決定する際、入所希望者の状態・緊急性・空き居室の状況・介護度・市の入所判定指針などを検討し入所の優先順位を決定しました。
●要介護度３以上の方を優先的に案内し、地域に対しての貢献度を高まるよう努めました。

●要介護度１・２の方でも入所の必要を認める際には、理由を明確にし、記録として保管しました。

②行事委員会

●食事に郷土料理を盛り込み懐かしい故郷の味を味わって頂きました。
●毎月１回、誕生日の特別食の提供をしました。
●コロナウィルス感染予防の為、各フロアーでのレクレーション等の実施をしました。

③苦情処理委員会

●ご利用者様、ご家族様等から出た苦情申し立てについて、施設長を中心に施設内で十分な調査、検証を行い十分な説明と改善を図り、サービス提供の在り方・顧客満足度向上につながるサービスの検討を行い、再発を防止するための対応を行います。

④ケアプラン作成委員会

●個々のご利用者様が最大限の能力を発揮し自立した生活が送れるよう日常の問題を抽出し、解決に向けた取り組みをわかりやすく具体的に示しました。
●現場職員とよりよい連携が図れるよう日ごろから連絡と相談を密に行いました。
●ご利用者様の状態変化に対し速やかな施設サービス計画書変更を行い、ご家族様へ同意を頂きました。

⑤給食委員会

●他職種の職員と連携を図り、個々の状態を把握しながら食事形態や食事内容について検討を行いました。また、利用者様に安心して食べて頂けるように電解水を活用し、衛生面の徹底や、トロミ剤の質の向上に努めました。

⑥研修委員会

● 褥瘡予防・事故防止・感染症予防の研修に関しては年２回実施しました。
● コロナの為各自に資料を配布し後日報告書を提出してもらう研修形式で実施しました。

その他の研修に関しては、委員会の担当者と連携を図り年間予定表を元に、
月１回の研修を行いました。
（予定通り行えなかった研修に関しては翌月以降随時行いました）

●感染拡大防止対策の為、ガウンテクニック研修行いました。
●新人職員に介護主任を中心にして介護業務、知識、情報を入職時研修として指導を行いました。その後も評価シートを作成し１ヶ月、３ヶ月、６ヶ月、１年と期間を分けて評価指導を実施致しました。

⑦排泄・補水委員会

●介護職員と看護職員で連携、日々のモニタリングを通しご入居者様への適切な食事形態、トロミ量の提供に努めました。

●ご入居者様ごとに排泄状況、形態の把握に努め、排泄状況を職員間で情報を共有し、その方に合ったオムツサイズやパッドの見極めに努めました。

●ご入居者様の ADL や日々の変化を把握し介護職員と看護職員で連携し、サービス提供の一定化を目指しました。

⑧業務委員会

●利用者様の状態にあわせて適切な方法で快適に入浴をできるように努めました。
●他の委員会や職種と連携をとりながら円滑な業務が行えるように致しました。
●居室担当をバランスを見ながら職員へ割り振りスムーズに業務が行えるように努めました。

⑨事故防止委員会

●事故が起きやすい時間帯や場所や事故原因を考察し、主任、委員会を中心に事故防止策を立案、実施に努めました。
●研修委員と連携を図り、年２回以上と職員入社時に事故防止研修と事故報告書や 4M 分析の書き方の研修を実施しました。

⑩身体拘束廃止委員会

●やむを得ず身体拘束を行う場合は、ご利用者様、ご家族様、職員に身体拘束に関する説明を行い、身体拘束に関する理解を深め、手順を踏んで対応しました。
●年 2 回の研修を行い、身体拘束の基本から、施設内で実施している身体拘束の内容に沿った研修を実施しました。
●やむを得ず身体拘束を行っているご利用者様の日々のモニタリングを基に切迫性、非代替性、一時性の 3 要件を満たしているかのカンファレンスを行い拘束の要否を多職種連携し考案するよう努めました。

⑪感染症予防委員会

● 感染症対策を効果的に実施した結果、ご利用者様のインフルエンザ発症はありませんでした。施設内での新型コロナウイルスの発症もありませんでした。
● 新型コロナウィルスへの対策等も医務と連携し対策資料を作成し全職員を対象に周知を行い、意識向上と対策に努めました。
● 新型コロナウイルスへの対策として、抗原検査を毎週実施し、感染防止に努めました。
● 新型コロナウイルスへの対策として、感染者、濃厚接触者への出勤制限、出勤後の簡易検査実施し、陰性であることを確認してからの勤務とし、感染拡大防止に努めました。

⑫環境整備委員会

● 職員の館内清掃への意識を高め、館内清掃に努めました。

1

⑬口腔ケア委員会

●入所者様ごと、残存能力に沿った個別性のある口腔ケアの実施に取り組みました。
●年に一回、施設内研修等を通じ既存職員が、口腔ケアの本質を熟知し、知識や技術の向上を図れました。
● 日々の業務時の指導や施設内研修を経て、新入職員が口腔ケアの必要性を理解し、正しい知識、技術を習得していくよう努めました。

● 義歯の不具合等発生時、看護師と連携し、必要時に歯科往診で対応し入所者様へ食事の摂りやすい環境を整えました。

⑭医療ケア委員会

●入居者様のモニタリング、評価を適宜行い、個別に吸引・経管栄養ケアプランを看護師と連携し実施しました。

●研修などを通して看取りの利用者様への対応など各職員の理解を深めるよう努めました。

⑮衛生委員会

●職員の健康障害を防止する為の対策を調査審議し、心身の健康に関する啓発に努めました。

⑯褥瘡予防委員会

●入所時、褥瘡発生リスク評価をし、高リスク者に対しケアプランを作成し褥瘡予防に努めました。

●褥瘡発生時は嘱託医と連携を図りながら早期治癒に向けて取り組みました。

⑰安全委員会

●喀痰吸引等業務の実施計画や実施状況の管理を行いました。

●介護職員による喀痰吸引等業務が安全に実施されるように取り組むことで、喀痰吸引等実施時の事故の発生はありませんでした。

⑱見守り機器を安全かつ有効に活用する委員会

● 介護主任、委員会とで協議した内容を元に毎月見守り機器使用の分析、モニタリングを実施致しました。

● 新入所の利用者さんの行動や転倒リスクを速やかに分析しセンサー必要かを見極めました。

⑲施設外研修報告

今年度は、ありませんでした。

（４）意見・要望・苦情に対する対応報告

ご利用者様、ご家族様からの、意見、要望、苦情について、それらの情報を関係職員に周知させると共に、施設長、各部署の責任者を中心にそれらの原因・対策を検討し、再発防止に努めました。

また引き続き投書箱を設置し、忌憚のない意見を聴取できる環境を整備しましたが、投書での苦情等はありませんでした。

また、契約時に施設の苦情担当職員と公的機関の案内も行いました。

（５）安全管理について

①事故防止への取組みと事故発生時の報告体制

ご利用者様に関する事故については、ご家族様への通報を優先し、嘱託医の助言等を

勘案して関係職員には病院への緊急搬送など、取るべき行動を指示しました。
災害（火事・震災）発生を想定した訓練、消防設備の取扱いについて指導しました。
防災訓練は年１回実施しました。

②発生した事故の内容、件数、対応状況

（事故件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故件数	1	5	4	2	1	5	4	5	4	2	1	2	36
ヒヤリ・ハット報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち医療機関受診案件	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0

（７）地域交流（ボランティア受入れ等）の状況報告

本年度は、ボランティアの受け入れを中止しました。

３　事業実績等

（１）特別養護老人ホーム事業

①利用状況　※在籍者数（入院等不在者を含む。）

ア　年齢構成別利用者数（各月末日現在）　（単位：人）

	～70 歳	71 歳 ～75 歳	76 歳 ～80 歳	81 歳 ～85 歳	86 歳 ～90 歳	91 歳 ～95 歳	96　歳 ～	合計
4 月	0	1	4	10	13	8	5	41
5 月	0	1	4	10	12	9	5	41
6 月	0	1	4	11	11	8	4	39
7 月	0	1	3	10	10	7	4	35
8 月	0	2	3	10	8	7	4	34
9 月	0	2	3	12	8	7	4	36
10 月	0	2	3	14	8	6	4	37
11 月	0	2	4	14	7	7	3	37
12 月	0	2	4	12	9	7	4	38
1 月	0	2	4	12	10	7	4	39
2 月	0	2	2	13	11	6	4	38
3 月	0	2	2	13	11	6	4	38
合計	0	20	40	141	118	85	49	453

イ　介護度別利用者数（各月末日現在）　（単位：人）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4 月	3	0	16	12	9	40
5 月	2	1	16	12	10	41
6 月	1	2	16	10	10	39
7 月	1	2	13	10	9	35
8 月	1	1	13	10	9	34
9 月	1	1	12	12	10	36
10 月	1	1	14	12	9	37
11 月	1	1	14	14	7	37
12 月	1	1	14	15	7	38
1 月	1	1	13	16	8	39
2 月	1	1	12	17	7	38
3 月	1	1	13	17	6	38
合計	15	13	166	157	101	452

ウ　地域別利用者数（令和 4 年 3 月 31 日現在の在籍者数）　（単位：人）

川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市内合計
2	0	3	6	23	1	0	35

横浜市	その他県内	東京都内	その他県外	市外合計
2	0	1	0	3

エ　うち〝やむを得ない理由による〟実施機関別被措置者数
（平成 29 年 3 月 31 日現在の在籍者数）　（単位：人）

川崎区	大師地区	田島地区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区
0	0	0	0	0	0	0	0

麻生区	市内合計	横浜市	その他県内	東京都内	市外合計
0	0	0	0	0	0

②行事等の実施状況

	行事等の内容（実施日）
4 月	花まつり
5 月	端午の節句
6 月	開荘記念日
7 月	七夕、土用の丑の日
8 月	お盆，終戦記念日
9 月	重陽の節句、敬老の日、彼岸入り、お中日、彼岸明け
10 月	十三夜
11 月	紅葉の会
12 月	冬至、師走の会、年越しの会、クリスマス
1 月	新年祝賀会、七草
2 月	節分、初午
3 月	ひな祭り、彼岸入り、お中日、彼岸明け

（２）短期入所事業

①利用状況　※延べ利用者数（延べ利用日数）

ア　年齢構成別利用者数　（単位：人）

	～70歳	71歳～75歳	76歳～80歳	81歳～85歳	86歳～90歳	91歳～95歳	96歳～	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

イ　介護度別利用者数　（単位：人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ　地域別利用者数（年度内延べ利用者数）　（単位：人）

川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市内合計
0	0	0	0	3	0	0	0

横浜市	その他県内	東京都内	その他	市外合計
0	0	0	0	0

（３）地域包括支援センター事業

①利用状況　※「地域包括支援センター業務実績報告書」に基づく

ア　相談件数　（単位：件）

相談者	本人	家族親族	民生委員	地域住民	ケアマネジャー	サービス事業所	医療機関	区役所	その他	合計
4月	32	51	1	3	21	7	13	3	4	135
5月	28	34	0	5	26	13	5	5	5	121
6月	31	39	1	7	29	19	6	3	4	139
7月	28	31	2	3	24	11	9	2	2	112
8月	28	30	0	3	30	9	3	6	4	113
9月	20	45	1	5	21	8	8	2	2	112
10月	45	71	3	3	20	19	13	10	21	205
11月	42	57	4	4	35	22	17	5	13	199
12月	24	53	0	0	27	17	15	7	6	149
1月	24	32	2	4	14	21	8	3	4	112
2月	44	41	1	4	42	20	11	6	6	175
3月	50	35	2	3	27	11	12	5	7	152
合計	396	519	17	44	316	177	120	57	78	1,724

イ　相談内容（複数回答有）　（単位：件）

	介護保険	高齢者福祉	権利擁護	医療相談	安否関連	生活支援・その他	合計
4 月	93	9	5	15	4	32	158
5 月	90	5	7	12	5	26	145
6 月	103	6	4	11	5	33	162
7 月	76	1	4	14	4	27	126
8 月	82	8	2	11	4	29	136
9 月	91	8	6	5	1	17	128
10 月	129	12	13	11	4	48	217
11 月	115	16	9	11	7	64	222
12 月	104	16	5	11	7	45	188
1 月	71	14	1	11	7	34	138
2 月	117	15	7	13	4	58	214
3 月	100	22	7	14	2	63	208
合計	1,171	132	70	139	54	476	2,042

ウ　給付管理件数　　（単位：件）

	給付管理件数		
	直営	委託	合計
4 月	55	127	182
5 月	56	128	184
6 月	58	125	183
7 月	55	122	177
8 月	54	119	173
9 月	55	116	171
10 月	54	115	169
11 月	56	114	170
12 月	61	110	171
1 月	61	113	174
2 月	62	107	169
3 月	66	110	176
合計	689	1,406	2,095

4　まとめ

本年度も新型コロナで始まり新型コロナで終わる年度となりました。
昨年度採用した特定技能実習生も順調に育成し正規職員と遜色なく業務を熟しております。今後も採用する機会があれば積極的に検討してまいりたいと思います。

令和５年５月ゴールデンウィーク明けには、新型コロナに関し規制が緩和され２類から５類への変更しマスク着用を個人の判断に委ねとの通知がありました。
但し高齢者施設への面会時の着用など継続される見込みです。当施設においても令和５年４月より対面面会を開始し、ご家族様がご利用者様の顔を見たり、声をかけられることで元気に安心した施設生活を送っている姿をお見せできる事を楽しみにしております。

これからも新型コロナの感染予防としてマスク着用・手指消毒を継続し、ご利用者様の安心安全を優先し業務にあたってまいります。